

動物の社会はどのように形成されるのか？

山形大学理学部
生物学科

准教授
廣田忠雄



専門分野

動物行動学・進化生態学

キーワード

繁殖・越冬・分散・社会性

研究紹介

ヤマヨツボシ
オオアリ
(左から)
小型働きアリ
大型働きアリ
小型女王
大型女王



アリには、女王が1頭しかいない種の外に、複数の女王が同居する種や、女王のいない種もあります。この違いが生じた生態的意義を調べています。ヤマヨツボシオオアリでは、女王が母巢に居残ることが寒冷地で有利になるので、女王が複数化したことが解明されつつあります。また、全てのメスが若い内にクローンの子供を産み、その後ワーカーとして働くアミメアリの生態も調査しています。

相談・要望に応じられる分野

講演会講師 『動物に学ぶ、協力的な社会の維持』
出前講義講師 『モテる動物、モテない動物』

繁殖行動の研究

当研究室は、昆虫の繁殖行動も調査しています。シテムシは、オスがメスの触角を噛みながら交尾をするのが特徴的です。周りにライバルオスが多いと、オスは触角を噛むことで交尾相手を数時間拘束する種がいます。また、できるだけたくさんのメスと交尾するため、交尾相手に目印を付けて、次の交尾するときには避ける種もいます(クーリッジ効果)。この課題に取り組んでいる学生は、日本生態学会で優秀賞を受賞しました。

■ 連絡先 (E-mail) : columbo70@yahoo.co.jp
■ HP : <http://sci.kj.yamagata-u.ac.jp/~columbo/>